

期日	2024年11月23日（土）～24日（日）
場所	内浦山県民の森 千葉県鴨川市内浦 3228
講演	「コンビニ登山」の危うさを露呈したトムラウシ山大量遭難
講師	節田重節（元トムラウシ山遭難事故調査特別委員会座長・千葉支部会員）
宿泊	内浦山県民の森『森の宿せせらぎ』
山行	Aコース（登山）烏場山（花嫁街道） CT5時間 Bコース（軽ハイキング）鵜原理想郷ハイキングコース CT2.5時間

千葉支部26名、群馬支部6名、茨城支部2名、栃木支部1名、計35名が参加し、内浦山県民の森で4支部合同懇談会が行われた。23日は午後1時50分より開会式が始まり、4支部活動の報告に続いて、記念講演が行われた。2009年（平成21年）7月16日に10人が亡くなった遭難事故の詳細を聴講した。夏山遭難史上かつてない事故はどのように発生してしまったのか？現地調査、生存者へのヒアリング、低体温症の医学的検証など解説していただき、これからの山行に活かしたいと肝に銘じた。お風呂タイムがあり、18時より夕食&懇親会、20時より2次会、22時30分より3次会と、大量のアルコールが干されるまで続いた。



24日は7時30分よりハイキング形式の朝食をいただき、8時45分に全員で記念撮影を行い、AコースとBコースに分かれ登山口へ出発。鴨川シーワールドの入場待ちの列を眺め、国道128号線から急に細くなる道を恐る恐る進み登山口へ。10時より18名で烏場山を目指した。海を眺めながら見晴台でさんが焼弁当を食べ、第三展望台で

雲を纏った富士山を眺め、頂上着13時。登った道は花嫁街道コース、花嫁たちは貧しい山間部から豊かな海岸部へ嫁ぐことを祝われたそうだ。周回コースの下山路は花婿コース、黒滝の滝つぼへは立ち入り禁止で上から眺め、ゴールのはなその広場に14時50分到着。来年度の茨城での再会を約束して散会となった。

約5時間のドライブで不安が大きかったですが、千葉支部の歓待、顔馴染みとなった3支部の皆さんとの邂逅に、また海と海鮮とお酒と山談義でとても楽しかったです。一番の印象は各支部の活動を伺ったこと、さっそく各支部のホームページを訪問し、情報収集しております。

仲島 正子

